

地球の未来のために私たちができること

地球は、今、微熱がある病気になっています。原因は、私たちが空気を汚したから。このままでは、病気が悪化し、高熱を出す事になります。ただ、今から全世界の人々が治療に取り組み、この病気は必ず治ります。

冬は、暖房器具の使用や自動車交通量の増加により、1年中でも空気が汚れやすい季節。地球の未来のため、私たちができることを実践しましょう。

環境課

66 1122

地球が熱を出している

地球が熱を出している、つまり、気温が少しずつ上がり続けています。この現象を温暖化と言っています。このまま温暖化が進むと、今年の夏のような暑さが、年間140日にもおよぶという研究結果も出ています。このまま熱が上がり続けると、世界中に大きな変化がでてきます。

氷が溶けて海水が増え、陸地が海に沈んでいく。(海面水位の上昇)

局地的な大雨、大洪水、大干ばつ、熱波などが多発する。(異常気象の多発)

マラリアなどの伝染病が大発生する。(病気のまん延)

森林および動物たちが滅び、生態系が崩れ、農・漁業に大きな影響が出る。(食糧危機)

病気を治すために

温暖化という病気を治すには、二酸化炭素などの温室効果ガスを減らすこと。そして、私たちが今できることは、「 unnecessaryものは買わない・買ったものは大切に使う」ことです。

その他に

暖房温度は上げすぎない。冷房温度は下げすぎない。

使っていない部屋の電気は消す。

使わない電化製品のコンセントを抜く。

できる限り車を使用しない。不

必要なアイドリング、空ぶかしはしない。

買い物袋を持ち歩き、余分な包装は断る。

など、それぞれの家庭でできる地球にやさしい生活を実践してみてください。

蒲郡市役所の取り組み (二酸化炭素排出抑制)

平成 10年度
排出量 35,323,922kg -CO₂

21%	33%	44%
燃料	電気	廃プラスチック焼却 その他
16%	35%	46%

平成 15年度
排出量 36,256,995kg -CO₂

平成 15年度(目標年)の二酸化炭素総排出量は、平成 10年度(基準年)から4.5%削減する目標は達成されず、逆に2.6%増加しました。

内訳は、電気使用に伴い2.7%増、廃プラスチック焼却に伴い3.4%増、燃料使用は4.0%減などでした。

増加した原因は、新しい施設の増加に伴う電気使用量の増、市民生活から排出されるプラスチックごみの増などです。